



巻頭言

理事長 鎌田 文 恵

夏休みに入りホッと一息も束の間、新型コロナウイルス感染症終息の見通しが持てない中、各園の園長先生を始め教職員の皆様は二学期の計画や準備をしていくに当たり、その対策に苦慮されていることと存じます。今日ではマスクを着用していない人の方が数少ない状況となりました。私は、先生がマスクを着用して保育をしている姿を園児はどのように見ているのか時折考えることがあります。園児は先生の表情を読み取ることが果たしてできているのでしょうか。人との関わりの中で、顔は言葉と同じくらい情報を伝える手段の一つです。「顔色をうかがう」というと余りよい響きではありませんが、先生の怒っている顔、やさしいにこやかな顔、行って良い行為、してはいけない行為を顔の表情から感じ取り、知らず知らずのうちに成長していくものと思っています。一日でも早くノーマスクの時代が戻ってくることを願います。

さて、幼稚園を取り巻く環境は年々変化しています。園児減はもとより、新制度への移行、教員免許更新制度の廃止、こども家庭庁の新設など行政の政策がめまぐるしく変化しております。1989年、国連総会で「子どもの権利条約」が採択されましたが、その内容には子どもを中心とした考え方があります。子どもの人権を尊重するという基本の下、子どもは心身ともに未発達で成長過程にあるので、大人の支援や保護が必要との観点から成立しているように考えられます。しかし現在の制度は、親の就労形態の違いで保育所・幼稚園・新制度の園と異なった施設に入所・入園します。このようにならざるを得ないのは理解しているつもりですが、何となく子どもを中心とした考え方ではないように思います。

昭和60年代より幼保一元の議論が繰り返行われてきましたが、令和4年6月に「こども家庭庁設置法」と「子ども基本法」が成立、来年4月内閣府にこども家庭庁が発足します。「こども家庭庁設置法案」には「こども家庭庁は、子どもの意見を尊重し、子どもの最善の利益を優先して考慮することを基本とする」と明記されており、これは一見当たり前のように見えますが、この『子どもの権利利益の擁護』の一文を法律に明記するのは、そう簡単なことでなかったかと推測されます。

話は異なりますが、宮私幼連合会の設立当初は幼稚園のみの連合会でしたが、今日では設置者の形態が私学助成の幼稚園、保育園、新制度へ移行した園と三つの形態が会員として存在しております。故に設置者が連合会に求める内容もそれぞれ異なり多岐に渡ります。そのためこの度施行規則を変更し、設置者形態別の3部会を設置し運営することと致しました。皆様から益々のご理解とご協力をいただき、微力ながら何とか任を全うしていきたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



一般社団法人 宮城県私立幼稚園連合会

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目6-12 佐正第二ビル6F 編集・発行人 鎌田文恵



令和4年度 宮私幼理事会の概要（4月～9月）

【令和4年度 第1回理事会】

日 時 令和4年5月16日(月) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

(1)令和4年度第1 回定時総会議案について

- ①令和3年度事業報告について
- ②令和3年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告・監査報告について
- ③役員改選について
- ④その他

【令和4年度 第2回理事会】

日 時 令和4年5月30日(月) 午後2時40分～

場 所 エレクトロンホール宮城 602会議室

議 事

(1)令和4年度第1 回定時総会で新役員が承認されたので、令和4年度・令和5年度の理事長、副理事長の選定

【令和4年度 第3回理事会】

日 時 令和4年6月9日(木) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

(1)令和4年度の新体制について

- 役員分担の確認：理事長・副理事長・常任理事・委員会・部会・地区会
- 施行規則第5条による委員会及び部会等の職務と各委員会の担当と構成
- 委員長の互選 ○協力委員

(2)無料職業紹介事業について

(3)養成校との懇談について：令和4年7月14日(木)13:30～ 仙台ガーデンパレスにて

(4)地区別設置者・園長会議について：開催日時、場所、その他

(5)地区研修費、実技講習会費について

(6)その他

【令和4年度 第4回理事会】

日 時 令和4年6月29日(水) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

(1)養成校との懇談について

令和4年7月14日(木)13:30～15:00、仙台ガーデンパレスにて

(2)地区別設置者・園長会議について：8月9日(火)～25日(木)

(3)地区会：【地区運営費・地区研修費・実技講習会費】について説明

報告事項

(1)総務・給付委員会より無料職業紹介事業について：進捗状況の報告

その他

(1)研究委員会よりキャリアアップ研修について

(2)宮私幼名簿の確認：副部会長・地区会事務局等

【令和4年度 第5回理事会】

日 時 令和4年8月1日(月) 午後1時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

(1)地区別設置者・園長会議について：8月9日(火)～25日(木)

(2)4月～7月迄の事業報告について

(3)令和6年度全日本私立幼稚園連合会第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会＜宮城大会＞について

報告事項：無料職業紹介事業の進捗状況について

【令和4年度 第6回理事会】

日 時 令和4年9月15日(木) 午後3時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

(1)宮私幼教育振興大会について：令和4年10月20日(木)10:00～11:40 仙台市民会館にて

(2)令和6年度全日本私立幼稚園連合会第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会＜宮城大会＞について

(3)地区別設置者・園長会議について

事務局だより

令和4年度 上半期（4月～9月）

○関係機関団体

4/28-5/27 県新採研・中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)(リモート)

7/6 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

7/26 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

7/29 県新採研・中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

8/1 教育課程宮城県研究協議会(宮私幼共催)(県庁2階講堂)

8/4 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

8/5 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

8/23 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)

9/22 仙私幼教育振興大会・P T A研修大会(仙台市民会館)

○全日私幼連

4/11 東北地区会臨時団体長会〔リモート〕

5/9 団体長会・理事会合同会議(アルカディア市ヶ谷)

5/26 定時総会(ホテルグランドライル市ヶ谷)

6/24 東北地区設置者・園長研修会＜岩手大会＞(ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング)

6/25 第1回全日私幼連東北地区会(ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング)

8/26 東北地区会教育研究担当者連絡協議会(ホテルメトロポリタン秋田)

○宮私幼のあゆみ

4/6 新任教員研修会(仙私幼共催)(ハイブリッド形式)(東京エレクトロンホール宮城)

4/14 総務・給付委員会

4/20 総務・給付委員会

4/21 研究委員会〔リモート〕

5/12 総務・給付委員会

5/12 常任理事会、総務・給付委員会合同会議

5/12 推薦委員会

5/13 監査会

5/16 理事会

5/19 研究委員会

5/25 推薦委員会(2回目)

5/30 第1回定時総会、理事会(東京エレクトロンホール宮城)

6/9 理事会、総務・給付委員会

6/16 研究委員会、地区研修担当者連絡会

6/23 経営委員会

6/29 理事会、総務・給付委員会

7/12 研究委員会、教育研究発表大会事例発表説明会

7/14 養成校との懇談会(仙台ガーデンパレス)

7/21 総務・給付委員会

7/26 新任教員研修会(仙私幼共催)(ハイブリッド形式)(東京エレクトロンホール宮城)

7/26 経営委員会

7/27 主任・リーダー研修会(仙私幼共催)(ハイブリッド形式)(東京エレクトロンホール宮城)

7/28 保育研修会Ⅰ(仙私幼共催)(ハイブリッド形式)(旭ヶ丘市民センター)

8/1 理事会

8/2 保育研修会Ⅱ(仙私幼共催)(ハイブリッド形式)(東京エレクトロンホール宮城)

8/4 保育研修会Ⅲ(仙私幼共催)(ハイブリッド形式)(東京エレクトロンホール宮城)

8/9 仙台地区設置者・園長会議(旭ヶ丘市民センター)

8/19 気仙沼・登米地区&大崎地区(合同)設置者・園長会議(栗原市:エポカ21)

8/22 石巻地区設置者・園長会議(石巻市:ひばり幼稚園)

8/24 名取・岩沼地区&仙南地区(合同)設置者・園長会議(岩沼市:岩沼南こばと幼稚園)

8/25 塩釜地区設置者・園長会議(多賀城市:ホテルキャスルプラザ多賀城)

8/29 幼稚園・認定こども園・保育園部会合同会議

8/31 総務・給付委員会

9/5 常任理事会

9/8 総務・給付委員会

9/14 研究委員会

9/15 経営委員会、広報委員会、理事会

○慶 弔

4/3 菅原 耕一氏(あらまき幼稚園 前理事長)ご逝去

8/18 庄子いと子氏(大沢幼稚園 園長)ご逝去

9/8 福聚幼稚園 創立70周年記念式典

令和4年度 第1回総会

(出席者:85名・委任状提出者:68名)

日時：令和4年5月30日(月) 会場：東京エレクトロンホール宮城 601会議室



● 開会のことば (根来副理事長)

with コロナの生活で、感染者が低年齢化し、取捨選択の必要に迫られています。今年度から新しい部会を設置したので、これまでを踏襲しつつ、スタートとなるように願っています。

● 理事長挨拶 (鎌田理事長)

緑が美しい季節ですが、マスクをはずす日がいつになるのか？ 理事長に就任して2年が過ぎましたが、①無料職業紹介所を行うこと、②仙私幼との研修の共催、この二点を念頭に行ってきました。少子化で保育園の1/3が余ってくる時代、多岐にわたる課題があり、管理規定等の変更を見直す必要があります。

● 議事

議長として、塩釜地区塩釜カトリック幼稚園の佐藤香先生と太白地区 大野田幼稚園の庄子俊明先生が選任され、議事録署名人として宮城野地区 東岡幼稚園の清野英俊先生と石巻地区 矢本はなぶさ幼稚園山田元郎先生が選任されました。議事は議案書に基づいて進行され、第1号議案令和3年度事業報告、第2号議案令和3年度一般会計・退職手当金給付事業特別会計決算報

告について審議、承認されました。第3号議案役員改選は、出席者(委任状を含む)の投票により、執行部原案通り承認されました。別室で理事会を開催して選定した結果、理事長・副理事長・各役員が選任され、異議なく可決されました。理事長に再任された鎌田文恵先生が、「短期のつもりでしたが、あと一期、先の懸案事項を完成させると共に、この2年で、各部会・新制度のあり方を模索したい」と挨拶されました。

この後、幼稚園・認定こども園・保育園の三つの部会に分かれて、これからの動向を協議しました。

● 報告事項 (研究委員会)

令和4年度に、宮私幼が実施する研修会の中で、キャリアアップ研修に該当するものを知らせるので、各園で申請してください。

● 閉会のことば (庄司昭博副理事長)

長時間にわたっての審議、ありがとうございました。これからの2年間に身が引き締まる思いです。仙台市の人口減少については、スピード感をもって、県や市に要望していく必要があります。

以上をもって議事の一切を終了しました。(小川せつ子)



養成校との懇談

日時：令和4年7月14日(木) 会場：仙台ガーデンパレス 4階「羽衣の間」

● 挨拶

〔鎌田文恵 理事長〕

学生の就職先として大半が保育園を希望しており、幼稚園は人材が集まらず難しい時代になっています。人材確保に今後も養成校のご協力をお願い申し上げます。



〔宮城誠真短期大学 千葉 剛 専任講師〕

幼稚園での実習は学生が夢の実現に向かい、心の目を養い先生方の子どもたちを思う願いを受け継ぐ場であると感じています。宮私幼と連携し学生の指導に当たってまいります。

● 養成校側の自己紹介と現況について

- 宮城学院女子大学、他11校が参加。
- 学生の就職状況は、7～8割が保育園とこども園、幼稚園は1～2割、福祉や一般企業が1割。
- 就職先は地元志向が多い。
- 学生の学力差が大きく、基礎をしっかり指導している。
- 地元で幼稚園が少なく実習先が決まらず苦慮している。
- 幼稚園の教育実習で素敵な先生に出会えたことを喜び、自分もそのような先生になりたいと思った学生がいる。
- 教育実習での指導が厳しく、途中で夢を諦める学生がいる。現場での配慮があると幸いである。
- 就職3～5年目の教員が離職の相談に来る。

● 宮私幼の現況について

〔庄司昭博 副理事長〕令和3年度ようちえん白書を資料に
○勤務期間0～3年で退職する方が142名で、全体の約半数いる。夢をもって就職してきた先生が短期間で退職しないような考え方をもちようにしていきたい。
(白書p24) 令和3年度教育時間のクラス編成と教職員配置に関する調査結果から

○各幼稚園はゆとりを持ったクラス編成と教職員配置を行っている。要因の一つは「気になる子ども」が各園でおり、その指導の充実を図るためと言える。

〔佐藤 洋 研究委員長〕研究委員会参考資料を基に

○宮私幼の研修で条件を満たせば平成24年度からの研修会がキャリアアップ研修として宮城県から認められるようになった。これは処遇改善加算に関わる研修会であり、研修を通して先生方の資質向上が図られることは保護者からの信頼にも繋がる。

● 情報交換

※短期間で離職する教職員が多い中で、職場で悩みを抱えている先生への支援について

- 子どものことより職場の人間関係に行き詰っているようである。園長と主任・中堅教員の話の違いから判断に迷い、悩んでいる。本人の話を聞き、一緒に考えていただくとよいのでは。
- 雑務が多く、負担感が大きい。雑務をもう少し減らしていただくと先生たちは楽になると思う。
- 幼稚園現場でも会議の資料作成や会議の方法など改善を図っている。
- 学生が就職先を選択するときは、ホームページや友人からの情報だけをあてにしないで、是非、自分で現場を見て判断してほしい。
- 実習生や1年目の先生で「心が折れた」という話を伺ったが、現場ではその先生の可能性を信じ、共に育てていこうという姿勢で接している。どうか、自分の目で確かめ、自分探しをしてほしい。

● 閉会の挨拶

〔庄司昭博 副理事長〕

教育はつながり。人を育てることの大切さを養成校と宮私幼とで共有し、教育実習生の指導を協力して行っていきたい。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

(記録：経営委員会)

新園長紹介

聖ドミニコ学院北仙台幼稚園

園長 土井 浩 喜



この4月から聖ドミニコ学院北仙台幼稚園園長に就任いたしました。公立小学校に37年間、その後、塩竈市青少年相談センター、聖ドミニコ学院小学校に勤めてきました。その間、子どもたちをはじめ、先生方、教育関係者の方々と多くの出会いがあり、様々なことを学ばせていただきました。その経験から言えることは「教育は人なり」ということです。換言すれば、教育の成否は教職員にかかっているということであり、教職員の仕事は責任が重い、それだけにやりがいや魅力があるということだと思います。園長として、教職員が生き生きと働き、子どもたちの笑顔があふれ、保護者が安心して委ねられる園になるよう、皆様のご指導をいただきながら運営していきたいと思っております。

教育現場は今、様々な課題に取り組むことが求められています。なかなか収まらない新型コロナ感染症への対策、そしてICT化です。アプリでの出欠の確認や連絡、預かり保育についても同様で、日々の指導の中で目まぐるしく対応を迫られる毎日です。世の中は効率化することが当然という風潮がありますが、保育の現場は「効率」だけを求めるわけにはいきません。忙しい中でこそ支えあって、お互いのことを思い、いつも笑顔で子どもたちと活動していきたいと思っています。

純心幼稚園

園長 尾花 純 一



8月5日、ちょうど夏休みの真ん中で夏季保育として、子どもたちと楽しい一日を過ごしました。例年ですと、この時期一晩幼稚園で過ごす「お泊り会」を行っていましたが、さすがに昨今の状況では中止せざるを得ません。今年の夏季保育では、自分たちの手で昼食に食べるカレー作りに挑戦させました。グループに分かれてカレーを「どんな野菜を使ってどうやって作ればいいのか？」子どもたちが知恵を出し合って考え作ることに挑戦しました。

子どもたちの話し合いを聞いていると「そんな入れないで！わたし嫌いだもの」「それ入れないとおいしくないよ！」の声に「小さく切ったら食べれるよ、ママやってるよ」と、それぞれの思いをまとめようとする声も現れて、子どもたちの思いが入ったカレーができ上がりました。普段元気に駆け回っている姿からは見られない、何か「新鮮な驚き」のようなものを覚え、子どもたちの「かかわる力」に成長を実感させられる一日でした。

本年4月から純心幼稚園の園長として、子どもたちの健やかな成長のため日々努めていきたいと思っております。皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



幼稚園訪問記

幼な子とともに

学校法人愛子学園 幼保連携型認定こども園

折立幼稚園・ナーサリールーム

〒982-0261 仙台市青葉区折立三丁目 17-10

園児数86名 教職員33名

(0歳児2名、1歳児10名、2歳児5名、3歳児24名、4歳児26名、5歳児19名)

連携型認定こども園

「折立幼稚園・ナーサリールーム」として移行をされたとのことで、旧園舎で保育を行

いながらの新築工事のご苦労もあったようです。随所に、園長先生の思い・工夫が実現された真新しい園舎で、0歳から年長児までが元気に過ごす様子を見せていた



新しい園舎

折立幼稚園・ナーサリールーム

を訪問しました!!



園長 庄子拓彦先生

令和4年8月10日(水)、幼保連携型認定こども園 折立幼稚園・ナーサリールームを訪問し、園長の庄子拓彦先生より、園や園児に対する熱い思いを聞かせていただきました。令和3年4月より、0才児から受け入れる幼保

できました。緑豊かな環境にあり、園舎のいたるところに、地元への愛着心や子どもたちの感性を育てる工夫が見受けられました。教職員の方々が、快適に働ける環境もありました。気持ち良い風が吹き抜ける屋上で、水遊びをする子どもたちと先生方の笑顔が印象的でした。

1. 概要

経営母体は学校法人愛子学園で、姉妹園に大沢幼稚園。折立地区の教育事業要請により、昭和51年4月に開園、令和3年4月より幼保連携型認定こども園。

2. 特色

少人数の園だからできるひとりひとりの主体性を大切にした保育。子ども同士の関わりの中から「やりたい」



「やってみよう」という気持ちがあそびを通して展開されるように、子どもたちと保育者が協同したり、また見守ったりということを大切にしてい

ます。未来を生き抜く自主的、自立的な子どもを育てるために、「ぼく・わたしは〇〇が好き」に重点を置き、社会性とコミュニケーション力を培います。「一人ひとり」の遊びを大切に、満足感や達成感を育みます。(心身発達の基礎)

広い園庭と遊具で全身を動かす環境で心と身体のバランスを大切に、室内では絵本の読み聞かせで心と言葉を豊かにします。また「話を聞く」「話を理解する」などの態度が自然と身に付けるようにします。



3. 教育・保育目標

より良い環境の下、主体的に活動することができる(教育が目指すこと)生活の場から「生きる力の基礎」となる健やかな身体と豊かな心を培い、小学校以降の生活や学習の基礎となる根っこを育てる幼稚園教育を目指します。「子どもの声を大切に」。

4. 目標とする子ども像

- 仲良くあそぶ子
- 思いやりのある子
- 自分で考えて行動する子



5. 保育時間・預かり保育等

- 1号認定児 月～金 9時～14時
(預かり保育 月～金 14時～18時15分)
- 2号・3号認定児 月～土 7時15分～18時15分(標準時間)
(預かり保育 月～金 18時15分～19時15分(延長保育))

6. 給食

自園の調理室での提供をおこない、季節の食材を用い栄養士が毎月献立を考えています。

オープンキッチンになっているので、給食ができるまでの過程や匂いを感じることがができます。

子どもたちが、食により興味を持つように設計されています。

7. 未就園児教室

毎月1回。(定員制限) 季節の行事や給食試食会等、園庭や子育て支援室にて行っています。

8. バス送迎

希望園児のみ利用。マイクロバス1台・ワゴン車1台でルートをまわっています。

9. 新型コロナウイルスへの対応

看護師を中心とした、教職員による毎日の定期的な消毒作業。換気は一時間に2回程度し、涼しい時には窓を開け常に風を通します。人の集まるところはイオン発生器を配置。室内では3歳以上にマスクを推奨、屋外では、熱中症対策も含め、外して遊びます。

行事は密を避け、人数制限・時間短縮・学年ごとなど、保護者と子どもたちが楽しく行えることを考えて進めています。保護者との連絡は密にとり、協力しあって、子どもたちが安心して過ごせるよう、情報を共有しています。

(中村晶子)

編集後記

コロナ禍3年、第7波の到来で、しばらくは、マスク生活が続き、withコロナを覚悟しなければならないようです。行事が多い二学期、感染予防と園児の望ましい活動の狭間で、頭をフル回転させて乗り切りましょう。(小川せつ子)